



えばら連携だより

荏原病院

総合防災訓練のご報告

荏原病院・地域医療連携室長 外科系副院長 あだち けんすけ
足立 健介

2月16日(土)午後、当院に於いて、大田区、田園調布医師会、大田区薬剤師会、柔道整復師会、区看護職ボランティアの方々などのご協力の元、総合防災訓練が行われました。地元住民の方々にはトリアージ研修を含め、災害医療の実際を学んでいただきました。院内訓練では発災直後からのシミュレーション、災害対策本部設営、情報伝達訓練を行いました。今回の訓練は基幹災害拠点病院の都立広尾病院・減災対策室の協力を得て、今までより一歩進んだものとなりました。当院のDMATメンバーも、八面六臂の大活躍をしてくれました(本号中の記事をご参照ください)。私たちは今後も、災害拠点病院として積極的活動を続ける所存です。平時からの災害に対する万全の備えに、皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

是非当院に患者さんをご紹介ください。ご紹介の際は患者さんに「診療情報提供書(紹介状)」をお渡しの上、当院にご持参いただくようお願いください。

※2回目以降のご受診でも、必要時には紹介状をお渡しいただくようお願いいたします。



○予約専用……………03-5734-5489 ▶月～金／9:00～19:00(翌日分の予約は17時まで)
土／9:00～12:00(翌週月曜日の予約は12時まで)

※お急ぎの場合は連携室にご連絡下さい

○救急診療……………03-5734-8000 ▶「救急室(又は○○科 救急当番医)へ」

○脳神経外科医師直通……………03-5734-7100

○放射線受付……………03-5734-7062 ▶月～金／9:00～17:00 土／9:00～12:00

○地域医療連携室 ー医療連携に関することは何でもお気軽にご相談ください。ー
ダイヤルイン……………03-5734-7027 ▶月～金／9:00～17:30 土／9:00～12:30
FAX……………03-5734-7018

○認知症疾患医療センター

ダイヤルイン……………03-5734-7028 ▶月～金／9:00～17:00

退官のご挨拶

ありがとうございました ～大西副院長 退官挨拶～

新任の内科系副院長として、4年前に久保田院長、吉住事務長ともども転勤してまいりました。前任地は墨東病院感染症科で、荏原病院は初めての勤務でした。早速に副院長として連携の先生方を訪問することを開始しましたが、行く先々ではお叱りと苦情の連続でした。荏原病院には患者さんを紹介しない、〇〇医師を辞めさせろなどというお言葉も頻回にいただきました。当時の荏原病院は連携の先生方の信頼を得ていないことを知り、先生方と相互信頼に立脚した良好な関係を築きたいと荏原病院が考えていることを理解していただけるように、病院全体で行動する必要があると考えました。連携医訪問を積極的に行い、このように考えていることをその都度申し上げるように努めました。その後足立副院長、黒井院長が着任され、荏原病院勤務者全員を対象にした指導により、病院全体の雰囲気が変わりました。そのことを連携の先生方が御理解いただき、結果として先生方との信頼関係が徐々に良い方向に向かっていることを、連携医訪問や医師会の活動時に実感するようになりました。ありがたいことと思っております。荏原病院は連携の先生方の信頼がなければ存続できない病院です。これからも、是非荏原病院に御指導、御教示を賜りますようお願い申し上げますとともに、4年間お世話になり御礼を申し上げます。今後は医療従事者を育成する教育事業に携わる予定ですが、連携医療の重要性を強調するつもりであります。

内科系副院長
おおにし けんじ
大西 健児

連携医療機関の皆様ありがとうございました

～村田看護部長 退官挨拶～

桜満開の荏原病院に赴任したのが平成29年4月になります。早いもので2年が過ぎようとしています。

これまで、いくつかの病院を転勤してきましたが、就職したのが旧都立荏原病院でしたので、こうして荏原病院で退職をすることについて感慨深いものを感じます。

今回、荏原病院で勤務して驚いたことは地域との連携の機会が多いことでした。これまでの病院勤務の経験ではないことでした。会議参加ももちろんですが、道に迷いながら特別養護老人施設や訪問看護ステーションを訪問した暑い夏の日を懐かしく思い出します。また、地域の会議等に何度か参加させていただいているうちに、お顔を見ただけでお名前がわかるようになり、多くの方と知り合うことができ、そして、多くの事を学ぶことができました。

私事になりますが、この度、退職の年を迎え、残念ながら荏原病院を退職いたします。これまでご支援、ご教授くださいました地域の関係者の皆様に心よりお礼を申し上げます。連携のバトンは次の看護部長に確実に渡しますので、引き続き荏原病院をよろしくお願い致します。

看護部長
むらた ちゆき
村田 千幸

DMATのご紹介

看護部 440 病棟 看護師長 はやし 林 しんこ 真子

荏原病院は災害拠点病院として指定されており、地震・台風・噴火などの大規模災害が発生した際に主に重症者の収容・治療を行います。また、被災地からの傷病者を受け入れたり、医療救護班の派遣体制も整備されています。医療救護班は災害派遣医療チーム Disaster Medical Assistance Teamの頭文字をとって略してDMAT（ディーマット）と呼ばれています。医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね災害発生から48時間以内）に活動できる専門的な訓練を受けた医療チームです。荏原病院は現在、医師2名、看護師2名、業務調整員（薬剤師）1名で構成されています。

DMATは災害時に多くの患者さんが運ばれる被災地の病院機能を維持するために、病院の医療行為を支援させて頂く病院支援や、首都直下型、東海、東南海・南海地震など想定される大地震で多数の重症患者が発生した際に、平時の救急医療レベルを提供するため、被災地の外に搬送する、広域医療搬送など、機動性、専門性を生かした多岐にわたる医療的支援を行います。

荏原病院のDMAT隊は現在まで被災地での活動経験はありませんが、H27年に首都直下型地震発生を想定した政府主催の総合防災訓練に参加し、警察、消防、自衛隊などと共に、羽田空港に搬送されて来た患者さんを被災地域外へ搬送する訓練を行いました。H29年にはDMAT関東ブロック7都県が集まり、栃木県那須岳噴火を想定した訓練で、患者を小規模病院から栃木県内の災害拠点病院に搬送する訓練に参加しました。このように有事に備え経験を積んでいます。また病院内では災害時に速やかに災害拠点病院職員として行動できるよう、院内災害マニュアルの整備や防災訓練の計画・実施に携わっています。

いつ起こるか分からない大規模災害に備え、地域の災害医療に貢献できるよう整備を進め、日々努力しております。毎年地域の方も交えた災害訓練を行っておりますのでぜひ見学、ご参加くださいますようお願い致します。



寒さも厳しい中、春の気配を感じる美味しそうなイチゴが売られているのを目にするようになりました。

ところで、イチゴをはじめとした果物にアレルギーがある患者さんがいらっしゃいますが、それはラテックスアレルギーとも関係があることをご存じでしょうか？ラテックスアレルギーは皮膚と天然ゴム中のタンパク質が接触することにより皮膚症状を発現し、最悪の場合、アナフィラキシーショックを起こすことがあります。そしてラテックスアレルギー患者の約50%で、果物アレルギーを多く発症することをBlancoらが報告し、ラテックスフルーツ症候群と提唱しました。その理由はラテックスアレルギーの原因物質と似た物質が特定の果物にも含まれているからだといわれています。

当科でも過去に桃、栗、バナナ、イチゴなど摂取後

に蕁麻疹や血圧低下、呼吸困難をきたしたことがある抜歯希望の患者さんが来院され、全身麻酔で対応しました。そして手術の際には手術室のスタッフの協力を得て、すべての使用機材をラテックスフリーにして手術にのぞみ、無事、手術を終えることが出来た事例があります。これを機に、手術室ではマニュアルを作成しラテックスフルーツ症候群の患者さんに対し、いつでも対応が取れるようになりました。

現在ではグローブなどもラテックスを含まないものが多くなってきています。皆さまの診療中、果物アレルギーのある方がいましたらラテックスアレルギーも疑って対応する方が安全と考えられます。

CPC (Clinico-Pathological Conference) 開催のご案内

日 時	内 容	発 表 者	場 所
平成31年3月20日(水) 19時～	「未定」 ※決定次第、医師会を通じてお知らせいたします。	荏原病院 検査科 鈴木隆三	荏原病院 2階 第1・2会議室

放射線検査オンライン予約システム「C@RNA」のご案内

荏原病院では、インターネットを利用したオンライン放射線検査予約システム「C@RNA」(カルナ)を導入しております。オンライン予約により、365日24時間いつでもCT・MRIの予約が可能です。なお、登録料や使用料は一切かかりません。詳しくは下記までご連絡ください。

お問い合わせ先 **TEL 03-5734-7062 (放射線科 直通)**

平日 8時30分～17時15分 土曜 8時30分～12時30分

E-mail: ebara_radiology@tokyo-hmt.jp

※電話による検査のご予約もこの番号で受け付けております。

※メールでのお問い合わせは、少しお時間をいただく場合もございます。

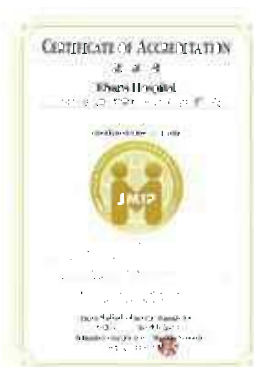
放射線科よりお知らせ

平成31年4月より、放射線科の診療体制が変わります。

連携医先生方からのご依頼の画像データは従来通り当日にお渡しできますが、読影レポートは郵送とさせていただきます。お急ぎの際には、受付の際にご相談ください。ご不便をおかけしますが、何卒ご理解の程、お願い申し上げます。



JMIP 受審合格のお知らせ



荏原病院・地域医療連携室長 外科系副院長 あだち けんすけ **足立 健介**

前号でもお知らせした通り、当院は昨年11月29～30日、JMIP（外国人患者受け入れ医療機関認証制度）を受審いたしました。先日結果が通知され、同制度認証を無事取得することができました。当面の対応言語は英語に限られますが、他言語にも柔軟に対応をしていく予定です。今後は、区南部地域の外国人患者受け入れの先駆的役割を担っていく所存です。平日日勤帯であれば、皆様方からのお問い合わせにも随時対応いたします（窓口：地域医療連携室）。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

第5・6回の「縁リッチメントプロジェクト」開催報告！

看護部 主任歯科衛生士 きたざわ ひろみ **北澤 浩美**

2019年1月に第5・6回の「縁リッチメントプロジェクト（歯科衛生士地域連携会）」が開催され、55名の地域でご勤務されている歯科衛生士が参加してくださいました。第5・6回は、開催曜日を変えて同じ内容で行い、当院の口腔・嚥下ケアチームのチームリーダーである歯科医師の齋藤真由が「摂食嚥下障害患者に対する評価と訓練立案・実施」と題して講演致しました。口腔を全身の一部としてとらえられる歯科衛生士が求められているなか、患者の「食べる」を支える為に歯科衛生士として何ができるか、想像をめぐらし考える大切さに気付かされる講演でした。後半は、「患者の情報共有を行うためには何が必要か」というテーマでグループディスカッションを行いました。短い時間ではありましたが、多くのアイデアを出し合い共有することができました。講演の実習やディスカッションでは、真剣かつ楽しく盛り上がり、熱気を帯びた会となりました。

次回、「縁リッチメントプロジェクト」の詳細が決定いたしました。同封の申し込み用紙でお申込みください。ご勤務の歯科衛生士スタッフにお声掛け頂ければ幸いです。

第7回「縁リッチメントプロジェクト」

日程：2019年6月13日（木） 14時開場 14時30分～17時
 開場：荏原病院 職務住宅会議室 参加資格：歯科衛生士（先着80名）
 講演：「歯周病の9割は歯科衛生士が治す！（仮題）」
 講師：二階堂雅彦先生
 （二階堂歯科医院院長/アメリカ歯周治療専門医、日本臨床歯周病学会指導医）

「医療・介護に関わる皮膚損傷」について

皮膚・排泄ケア認定看護師 うえだ くみこ **上田 恭三子** 皮膚科部長 せきね まり **関根 万里** 外科系副院長 あだち けんすけ **足立 健介**

医療現場や在宅療養の場で発生しやすい皮膚損傷と言え、すぐに思い浮かぶのが『褥瘡』ではないでしょうか。しかし、いわゆる寝たきりなどで発生する褥瘡（自重関連褥瘡）以外にも、注目を集めている皮膚損傷があります。

まず、『**医療関連機器圧迫創傷 (Medical Device Related Pressure Ulcer:MDRPU)**』です。これは、医療関連機器の装着部位に持続的に外力が加わり発生する圧迫創傷で、弾性ストッキング・ギプス・酸素マスクのストラップなど多岐に渡ります。従来の自重関連褥瘡と区別はされますが、ともに圧迫創傷であり広い意味では褥瘡の範疇に属します。

次に、高齢者の脆弱な皮膚（特に四肢）に一時的に摩擦やずれが加わり発生する『**スキン - テア (Skin Tear : 皮膚裂傷)**』です。ステロイドの長期投与、抗凝固剤や抗がん剤の投与を受けている事例も、皮膚が脆弱になり、スキン-テアの発生リスクが高まります。スキン - テアの発生は、転倒・ベッド柵にぶつける・車いすなどの移動介助・体位変換・医療用テープの剥離時などに生じやすく、いずれも苦痛を伴います。

MDRPU とスキン - テアは以前から存在していましたが、学会での取り組みと共に、今年度の診療報酬改訂で、褥瘡ハイリスク項目や褥瘡危険因子に加わり、さらに注目を集め予防対策の重要性を問われています。

当院でも、従来の褥瘡に加え **MDRPU、スキン-テア**の予防は、「医療におけるTQM」「医療安全」の基本と考え、褥瘡対策チームをはじめ、病院全体で対策を講じています。また、発生した場合も早期治癒を目指し、適切な処置を検討しています。これら皮膚障害でお困りの際は、ぜひご相談いただけたら幸いです。



NPPVマスクによるMDRPU



前腕に発生したスキン-テア